

「郵送世論調査に関する調査研究(平成 30 年度)」結果を見る際の注意

- 1 「n」は質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。  
なお、特に数字を示していない場合はn=1,924 人(有効回収数)である。
- 2 標本誤差は回答者数(n)と得られた結果の比率によって異なるが、単純任意抽出法(無作為抽出)を仮定した場合の誤差(95%は信頼できる誤差の範囲)は下表のとおりである。

回答比率 n(回答数)	90 % (又は10 %)	80 % (又は20 %)	70 % (又は30 %)	60 % (又は40 %)	50 %
1,924	± 1.3	± 1.8	± 2.0	± 2.2	± 2.2
1,500	± 1.5	± 2.0	± 2.3	± 2.5	± 2.5
1,000	± 1.9	± 2.5	± 2.8	± 3.0	± 3.1
500	± 2.6	± 3.5	± 4.0	± 4.3	± 4.4
100	± 5.9	± 7.8	± 9.0	± 9.6	± 9.8

なお、本調査のように層化2段抽出法による場合は標本誤差が若干増減することもある。  
また、誤差には回答者の誤解などによる計算不能な非標本誤差もある。

- 3 「M.A.」は質問の種類を示す記号で、1回答者が2以上の回答をすることができる質問(Multiple Answers の略)のことである。このときM.T.(Multiple Total の略)は回答数の合計を回答者数(n)で割った比率であり、通常その値は100%を超える。
- 4 結果数値(%)は表章単位未満を四捨五入してあるので、内訳の合計が計に一致しないこともある。
- 5 統計表等に用いた符号は次のとおりである。  
0.0:表章単位に満たないが、回答者がいるもの  
- :回答者がいないもの  
\* :一部を省略して表章してあるもの
- 6 本調査で用いた都市規模区分は次のとおりである。  
大都市(東京都区部、政令指定都市)  
中都市(人口 20 万人以上の市、人口 10 万人以上の市)  
小都市(人口 10 万人未満の市)  
町 村

7 本調査で用いた地域ブロックの定義は次のとおりである。

- 北海道 北海道
- 東北 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 北関東 茨城県、栃木県、群馬県
- 南関東 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 北陸 新潟県、富山県、石川県、福井県
- 東山 山梨県、長野県、岐阜県
- 東海 静岡県、愛知県、三重県
- 近畿 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 四国 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 北九州 福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
- 南九州 熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

8 本調査で用いたライフステージの構成条件は次のとおりである。

(1) ライフステージの分類

年齢、配偶関係、子どもの有無及び子どもの成長段階の組合せにより分類した。

ライフステージ		構成内容
独身者	40歳未満	・40歳未満の独身者（未婚又は既婚（離・死別）で子どもがいない者）
	40～64歳	・40～64歳の独身者（未婚又は既婚（離・死別）で子どもがいない者）
子どものいない夫・妻	40歳未満	・40歳未満で子どもがいない既婚（有配偶）の者
	40～64歳	・40～64歳で子どもがいない既婚（有配偶）の者
子どものいる者	末子が就学前	・末子が「乳児、幼児、未就学児」の者
	末子が小・中学生	・末子が「小学生」又は「中学生」の者
	末子が高校生以上	・末子が「高校生」又は「大学生、大学院生、短大生、専門学校生」の者
	子ども全員が学校教育修了	・65歳未満で子ども全員が「学校教育修了」の者
高齢者		・65歳以上で子ども全員が「学校教育修了」の者 ・65歳以上の独身者（未婚又は既婚（離・死別） ・65歳以上で子どもがいない既婚（有配偶）の者
その他		上記以外

(2) ライフステージの構成条件

ライフステージ 質問項目・選択肢名		独身者		子どもの いない夫・妻		子ども いる者				高齢者		
		40歳未満	40～64歳	40歳未満	40～64歳	末子が 就学前	末子が 小・中学生	末子が 高校生以上	子ども全員が 学校教育修了	独身者	子どもの いない夫・妻	子ども全員が 学校教育修了
年齢	40歳未満	○		○					○			
	40～64歳		○		○				○			
	65歳以上									○	○	○
	年齢要件なし					○	○	○				
未・既婚	未婚	○	○							○		
	既婚（有配偶）			○	○						○	
	既婚（離・死別）	○	○							○		
	未・既婚要件なし					○	○	○	○			○
子どもの有無	いる					○	○	○	○			○
	いない	○	○	○	○					○	○	
子どもの成長段階	乳児、幼児、未就学児					○						
	小学生					△	○					
	中学生					△	○					
	高校生					△	△	○				
	大学生、大学院生、短大生、専門学校生					△	△	○				
	学校教育修了					△	△	△	○			○

注：年齢、未・既婚及び子どもの成長段階で「○」が2つ以上あるものについては、いずれかに該当することが条件となる。

注：子どもの成長段階の「△」は、そこに該当する者があっても、下位の成長段階の条件（「○」）でライフステージを判断していることを示す。

9 引用した世論調査。

国民生活に関する世論調査(平成30年6月) 国民生活に関する郵送世論調査(平成29年7月)